

たなばたさま



われのはさらさら
のきばにゆれる
おほしさまきらめり
きんぎんすなー

ごしきのたんざく
わたしがかいた
おほしさまきらめり

そらからみてる

「のきば」の意味は?

一番の歌詞にある「のきば」とは、漢字で書くと「軒端」つまり屋根の端で壁から張り出した部分を意味します。日本の古い民家ではこうした軒端が設けられており、七夕の時期には軒端に笹飾りが飾られていました。

「砂子(すなこ)」の意味は?

一番の歌詞にある「金銀砂子(きんぎんすなこ)」とは、金箔や銀箔を細かく砕いて、蒔絵や襖絵などを装飾するために使う粉(砂子)のことです。『たなばたさま』の歌詞では、七夕の星空や天の川の砂などが表現されています。

「五色(ごしき)」の意味は?

一番の歌詞にある「五色(ごしき)」とは、中国の五行説にあてはまる五色で、緑・赤・黄・白・黒をいいます。実際の短冊では、黒は縁起が悪いので「紫」が用いられています。この「五色」の「ルーツ」が同じだそうですね。